

各 位

2024年12月24日
株式会社インプレス**5年連続売上 No.1 の定番リファレンスがさらに進化！『できるポケット Web制作必携 HTML & CSS 全事典 改訂4版』を12月24日（火）に発売**

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、最新のWebブラウザで実装されているHTMLの要素（タグ）とCSSのプロパティなどを網羅した書籍『できるポケット Web制作必携 HTML & CSS全事典 改訂4版』を2024年12月24日（火）に発売いたします。

**■圧倒的な情報量！ Web制作者に選ばれ続けたロングセラー書籍の最新刊**

Webサイトの構築にWordPressなどのCMSを利用することが主流となった現在では、HTMLとCSSのソースコードをゼロから記述することは減りました。しかし、CMSのテンプレートや既存のソースコードを改修する機会は多くあり、Web制作者はHTMLとCSSを正しく理解し、記述できることが必須となります。

また、レスポンシブデザインに代表されるように、ユーザーの環境や操作によって動的に変化するWebデザインが一般化したことで、Webデザイナーはサイトの見た目だけでなく、動作や機能、実装面まで理解していることが望ましいとされています。そのため、Webサイトを構築・運用する人だけでなく、Webデザインを学ぶ人々にとっても、HTMLとCSSは欠かせないスキルだといえます。

本書は、HTMLとCSSの事典として5年連続売上No.1*を記録している、ロングセラー書籍の最新刊です。HTMLの要素（タグ）やCSSのプロパティなどについて、標準仕様であるHTML Living StandardおよびW3Cに準拠しながら、意味や使い方を解説しています。さらに、近年では仕様策定よりもブラウザでの実装のほうが進んでいる状況を踏まえ、Chrome、Safariといった主要なブラウザで動作するプロパ

ティやCSS関数なども収録。全720ページという大ボリュームの事典となっています。

ほかにも、HTMLとCSSの書式や記述ルール、より効率的な活用法など、Web制作者やデザイナーが知っておくべき情報をまとめた「関連知識」も収録しています。業務としてWeb制作に関わる人はもちろん、Web制作業界を志す学生や初心者の方にとっても役立つ内容となっています。

※2020年1月～2024年10月 大手書店チェーン調べ

<紙面イメージ>

The image displays two pages from a technical manual, likely a book or e-book, showing HTML tags and their usage. The left page is titled '内容' (Content) and shows the <body> tag. The right page is titled '記事' (Article) and shows the <article> tag. Both pages include a '実践例' (Practical Example) section with code snippets and a preview of the rendered HTML output.

内容 (Content)

文書の内容を表す

`<body> ~ </body>`

body要素は、文書の内容を表します。html要素内で、body要素は1つだけ使用できます。

カテゴリ	なし
コンテンツモデル	フローコンテンツ
使用できる文脈	html要素(P.101)の2番目の子要素として

使用できる属性

グローバル属性(P.89)、一部のイベントハンドラーコンテンツ属性(P.100)

実践例 日本語のHTML文書の基本構文を記述する

```
<html lang="ja"><head> ~ </head>
<body> ~ </body></html>
```

HTML文書は、html要素以下にhead要素(P.101)とbody要素が内包され、head要素内に文書についての情報を、body要素内にWebページとしてユーザーに向けられる内容を記述します。以下の例では、html要素にページの言語を指定するlang属性(P.95)で日本語を表すjaを指定しています。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>ページのタイトル</title>
    <meta name="description" content="ページの概要">
    <meta name="keywords" content="キーワード">
    <link rel="stylesheet" href="/css/style.css">
    <script src="/js/script.js"></script>
  </head>
  <body>
    <header>ヘッダーの内容</header>
    <main>ページの主な内容</main>
    <nav>ページ内のナビゲーション</nav>
    <footer>フッターの内容</footer>
  </body>
</html>
```

記事 (Article)

独立した記事セクションを表す

`<article> ~ </article>`

article要素は、文書内の独立した記事セクションを表します。Webサイトの各記事や、それに付随するコメントなども独立した記事セクションと考えられます。

article要素を入れ子にすることは、子孫要素となるarticle要素は祖先要素に当たるarticle要素の内容に関連した内容を表します。記事へのコメントをarticle要素でマークアップする場合などが該当します。

カテゴリ	セクショニングコンテンツ / パルパブルコンテンツ / フローコンテンツ
コンテンツモデル	フローコンテンツ
使用できる文脈	セクショニングコンテンツが期待される場所

使用できる属性

グローバル属性(P.89)

```
<article>
  <header>
    <h2>カフェラテとカプチーノの違い</h2>
    <p><time datetimes="2025-01-01T19:21:15+00:00">公開日: 2025年1月1日</time></p>
  </header>
  <p>当店のメニューには、カフェラテとカプチーノがあります。</p>
  <p>この2つの違いについて、よくお客様に聞かれることがあります。当店の場合...</p>
  <footer>
    <address>
      著者: <a href="mailto:ohal-cafe@example.com">大樽町カフェ店長</a>
    </address>
  </footer>
</article>
```

独立した記事セクションをarticle要素で表している

カフェラテとカプチーノの違い

公開日: 2025年1月1日

当店のメニューには、カフェラテとカプチーノがあります。

この2つの違いについて、よくお客様に聞かれることがあります。当店の場合...

著者: 大樽町カフェ店長

実際のWeb制作現場で活用できる使い方を「実践例」として紹介しています。

スクロールバー
POPULAR

スクロールバーの色を指定する

`{ scrollbar-color: 色; }`

scrollbar-colorプロパティは、スクロールバーの色を指定します。スクロールバーを構成するパーツのうち、「トラック」と「つまみ(ノブ)」、それぞれの色を指定することができます。トラックはスクロールバーの背景部分で、スクロール位置に関係なく固定表示されます。つまみ(ノブ)はスクロールバーの動く部分のことで、つまみをドラッグして表示領域を移動できるようになっています。

ボタン

つまみ(ノブ)

トラック

ボタン

初期値	auto	継承	あり
適用される要素	スクロールコンテナー		
モジュール	CSS Scrollbars Styling Module Level 1		

値の指定方法

色

auto ブラウザーがスクロールバーの色を決定します。

色 スクロールバーの色を2つの色の値で指定します。値は空白で区切りします。1つ目の値は「つまみ」に、2つ目の値は「トラック」に適用されます。

```
html {
  scrollbar-color: #0369a1 #e5e7eb;
}
```

ポイント

- ブラウザによってはスクロールバーのデザインが異なり、トラックの部分やボタンが非表示の場合もあります。そのため、必ずしもすべてのブラウザで同様の見た目にはなりません。
- アクセシビリティを考慮し、スクロールバーに色を指定する場合は、トラックとつまみの色の間、かつスクロールバーが隣接するコンテンツとの間に十分なコントラスト比が確保されていることを確認してください。

696
できる

スクロールバー
USEFUL

スクロールバーのためのスペースをあらかじめ確保する

`{ scrollbar-gutter: スペース確保の方法; }`

scrollbar-gutterプロパティは、スクロールバーの表示に関連して「スクロールバーガター」の存在をコントロールするためのもので、overflowプロパティによるスクロールバー自体の表示制御とは別に設定できます。

初期値	auto	継承	なし
適用される要素	スクロールコンテナー		
モジュール	CSS Overflow Module Level 3		

値の指定方法

スペース確保の方法

auto クラシックスクロールバーの場合、overflowがscrollのとき、またはoverflowがautoでボックスがオーバーフローしているときに、スクロールバーガターが確保されます。オーバーレイスクロールバーの場合、スクロールバーガターは確保されません。

stable クラシックスクロールバーの場合、overflowがhidden、scrollのとき、またはautoで、ボックスがオーバーフローしていない場合でも、常にスクロールバーガターが確保されます。ただし、このプロパティはスクロールバー自体が表示されるかどうかについては影響を与えず、あくまでガターの存在にだけ影響します。オーバーレイスクロールバーの場合は、autoと同様、スクロールバーガターは確保されません。

both-edges stable値のオプションとして、空白で区切って、stable both-edgesのように指定可能です。ボックスのインライン方向の始端か終端のいずれかにスクロールバーガターが存在する場合、もう一方の反対側にも必ずスクロールバーガターが確保されることになります。

スクロールバーガター (Scrollbar Gutter)とは、境界ボックスとその内側にあるパディングボックスの間に、ブラウザがスクロールバーを表示するために確保するスペースのことです。このプロパティは、ボックスのインライン方向の始端や終端、つまり画面の左右に上下スクロールのために配置されるスクロールバーガターの存在を制御します。

例えば、画面サイズなどの変更でスクロールバーの表示、非表示が切り替わったとき、レイアウトの「ガタつき」が発生することがあります。stable値などであらかじめスクロールバーガターを確保しておく、そのようなガタつきを防止することができます。

697
できる

CSS編の新規項目は100個以上あり、プロパティだけで約300ページのボリュームです。

CSS関数

CSS関数

CSS関数は、単一のキーワードや数値などで指定するプロパティ値だけでは表現できないような、より複雑なデータ処理を可能にします。例えば、以下に挙げる「数学関数」は数値を数式として記述することで、さまざまな計算ができます。

数学関数

計算式を使用してプロパティの値を指定する

calc()関数

calc()関数は、CSSのプロパティ値の計算による指定を可能にします。演算子の種類は以下の通りです。長さ(length)、周波数(frequency)、角度(angle)、時間(time)、パーセント(percentage)、数値(number)、整数(integer)型のプロパティ値が許容される場所で使用できます。

- + 加算の演算子です。演算の対象となる値は「両方が同じ型」、もしくは「一方が数値、もう一方が数値」である必要があります。
- 減算の演算子です。演算の対象となる値のルールは加算と同じです。
- * 乗算の演算子です。演算の対象となる値は「いずれか一方が数値」である必要があります。
- / 除算の演算子です。演算の対象となる値は「右側が数値」である必要があります。また「0」での除算はエラーになります。

なお、+演算子または-演算子を使用する場合は、前後に空白文字を置く必要があります。
*演算子と/演算子においては任意ですが、ミスを防ぐためにも、前後に空白文字を記述するように統一したほうがよいでしょう。以下の例では、要素の幅や背景の色をcalc()関数で指定しています。

```
div {
  width: calc(100% / 3 - 2 * 1em - 2 * 1px);
  background-image: linear-gradient(
    silver 0%,
    white 20px,
    white calc(100% - 20px),
    silver 100%
  );
}
```

計算の優先順位

calc()関数における演算子の優先順位は、通常の四則演算と同じです。計算順序を指定するために括弧を使用できます。calc(500 + 10 * 20 - 10 / 2)であれば、乗算・除算が優先

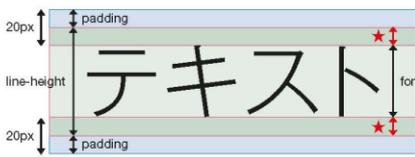
316
できる

されたうえで500 + 200 - 5と計算されます。加算・減算を優先したければcalc((500 + 10) * (20 - 10) / 2)のように記述しましょう。

実践例 テキストの上下余白を正しく計算する

`{padding: calc(20px - (1.5rem * 1.4 - 1.5rem) / 2) 0;}`

例えば、テキストの上下に20pxずつの余白を設定したい場合、padding:20px 0;のように指定しただけでは、ぴったり20pxずつの余白にはなりません。実際にはテキストの上下に行の高さによる余白もあるため、その影響を考慮する必要があります。以下の図は、paddingプロパティ、line-heightプロパティ、font-sizeプロパティの関係を示したものです。図中の★、つまり行の高さによる片側の余白は、(行の高さ - フォントサイズ) ÷ 2で計算できます。これをline-heightプロパティ、font-sizeプロパティの値に置き換えると、(font-sizeプロパティの値 × line-heightプロパティの値 - font-sizeプロパティの値) ÷ 2となります。20pxから★を引く計算をcalc()関数で表し、それをpaddingプロパティの値として指定すれば、意図した通りの余白を設定できるようになります。



以下の例では、padding-topプロパティとpadding-bottomプロパティにcalc(20px - (1.5rem * 1.4 - 1.5rem) / 2)を指定することで、テキストの上下にぴったり20pxずつの余白を設定しています。

```
h2 {
  font-size: 1.5rem;
  line-height: 1.4;
  padding: calc(20px - (1.5rem * 1.4 - 1.5rem) / 2) 0;
}
```

317
できる

CSSの「関連知識」では、@規則やCSS関数も網羅しています。

■インデックスを刷新。アルファベット順と目的別で知りたい内容をすぐに引ける

改訂4版となる本書では、掲載しているすべてのHTMLの要素と、CSSのプロパティ、セレクター、@規則、CSS関数を分類ごとにまとめた「目的別HTMLインデックス」「目的別CSSインデックス」を新設しました。これらにより、例えば「入力欄」「リスト」といった分類からHTMLの要素を探したり、「アニメーション」「グリッドレイアウト」といった分類からCSSのプロパティを探したりなど、実装したい動作や機能から該当する項目を簡単に見つけられるようになりました。

アルファベット順にHTMLとCSSの各項目をまとめた「HTMLインデックス」「CSSインデックス」も掲載しているので、要素やプロパティの名前が分かっている場合と、目的から該当する要素やプロパティを探したい場合で、インデックスの使い分けが可能です。さらに、「関連知識」に掲載されている内容をキーワードから引ける索引も用意しています。

目的別CSS インデックス		目的から@規則、CSS関数、プロパティを探せるインデックスです。				
HTMLインデックス	@規則	CSSカスタムプロパティを明確に定義する	@property 300			
		CSSのサポート状況に応じてスタイルを指定する	@supports 304			
		CSSをHTMLに適用する	@import 292			
		XML名前空間を定義する	@namespace 296			
		アニメーションの動きを指定する	@keyframes 293			
		カウンタースタイルを定義する	@counter-style 283			
		カスケードレイヤーを宣言する	@layer 293			
		カラーフォントのカスタムカラーパレットを定義する	@font-palette-values 290			
		カラープロファイルを定義し名前を付ける	@color-profile 278			
		コンテナクエリを使用する	@container 280			
		スタイルが適用される範囲を定義する	@scope 302			
		代替字体を定義する	@font-feature-values 287			
		デバイスによってスタイルを切り替える	@media 296			
		独自フォントの利用を指定する	@font-face 287			
		トランジションさせる要素の変更前スタイルを定義する	@starting-style 305			
		文書を印刷する際の各ページの寸法や向き、余白などを指定する	@page 297			
		文字エンコーディングを指定する	@charset 278			
		CSSインデックス	2D	平面空間で要素を変形する	transform 671	
				3D	3D空間で変形する要素の奥行きを表す	perspective 680
					3D空間で変形する要素の子要素の配置方法を指定する	transform-style 681
3D空間で変形する要素の視点の位置を指定する	perspective-origin 683					
3D空間で変形する要素の背面の表示方法を指定する	backface-visibility 684					
3D空間で要素を変形する	transform 673					
回転を指定する	rotate 676					
縮小や拡大を指定する	scale 675					
平行移動を指定する	translate 678					
変形する要素の中心点の位置を指定する	transform-origin 679					
目的別HTMLインデックス	3D	変形の参照ボックスを指定する	transform-box 685			
		CSS関数	atan2() 325			
		3D空間で変形する要素の奥行きを表す	perspective() 334			
		Bを底としたAの対数を返す	log() 326			
		CSSで円を描く	circle() 327			
		CSSで参照ボックスの内側に矩形を描く	inset() 330			
		CSSで楕円を描く	ellipse() 329			
		CSSで多角形を描く	polygon() 331			
		OkLabをLCH(明度、彩度、色相)形式に変換する	oklch() 339			
		URLを指定する	url() 347			
		値の全部、または一部で同じ指定が繰り返される際の記述をシンプルにする	repeat() 335			
		アンカーのサイズを基準に要素のサイズを指定する	anchor-size() 351			
		アンカー要素の辺を基準に配置する	anchor() 350			
		色空間を使用して色を指定する	lab() 338			
		色の彩度を変更する	saturnate() 337			
		色の明暗を変更する	brightness() 335			
		色を指定する	color() 339			
		色をミックスする	color-mix() 339			
		階層的なカウンター値を結合する	counters() 343			
		回転を指定する	rotate() 333			
カスタムプロパティで定義した値を挿入する	var() 347					
カラーモードに応じたスタイルを指定する	light-dark() 340					
環境変数の値を使用する	env() 345					
行列式によって要素を3D空間で変形する	matrix3d() 333					
行列式によって要素を変形する	matrix() 333					
グレースケールに変換する	grayscale() 336					
計算式を使用してプロパティの値を指定する	calc() 316					
コサイン値から角度を求める	acos() 324					
サイズの最小値と最大値を指定する	minmax() 334					
最適な画像を選択するためのヒントを提供する	image-set() 343					
サイン値から角度を求める	asin() 324					

目的別インデックスでは、「色」「フォント」といった分類から探せます。

■購入者特典としてサンプルコードを提供

本書をご購入いただいた方は、掲載しているすべてのサンプルコードをダウンロードできます。実際にブラウザでの表示・動作を確認したり、コーディングを練習したりする用途でお使いいただけます。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ Web制作に関わるWebデザイナーやコーダー、Webディレクター
- ・ 情報システム部などでWebサイトを内製で構築する担当者
- ・ HTMLとCSSの勉強をしている学生や新入社員

■本書の構成

HTML編

- ・ 関連知識
- ・ ドキュメント
- ・ セクション
- ・ コンテンツのグループ化
- ・ テキストの定義
- ・ 埋め込みコンテンツ
- ・ テーブル
- ・ フォーム
- ・ その他

CSS編

- ・ 関連知識
- ・ セレクター
- ・ フォント/テキスト
- ・ 色/背景/ボーダー
- ・ ボックス/テーブル
- ・ レイアウト
- ・ アニメーション
- ・ トランスフォーム
- ・ その他

■書誌情報



書名：できるポケット Web制作必携 HTML&CSS全事典 改訂4版

著者：加藤善規&できるシリーズ編集部

発売日：2024年12月24日（火）

ページ数：720ページ

サイズ：B6判

定価：2,420円（本体2,200円＋税10%）

電子版価格：2,420円（本体2,200円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02080-6

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/429502080X/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1124101065>

◇書影（高解像度）ダウンロード：<https://dekiru.net/press/502080.jpg>

■著者プロフィール

加藤 善規 (かとう よしき)

フリーランスによるWebサイト制作業務、Webサイト制作会社での取締役などの経験を経て、2014年にパーワークス株式会社を設立、代表取締役に就任。Webサイト制作ディレクション、Webアクセシビリティ、ユーザビリティに関するコンサルティング業務の他、セミナー等での講演、執筆等も行う。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。